



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月6日

上場会社名 株式会社カーチスホールディングス
 コード番号 7602 URL <http://www.carchs-hd.com/>
 代表者 (役職名) 代表執行役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 富田 圭潤
 (氏名) 高田 知行

TEL 03-5825-5075

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	14,770	△11.6	△19	—	△3	—	20	△96.3
26年3月期第2四半期	16,703	22.0	648	155.9	658	155.3	544	180.1

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 13百万円 (△97.5%) 26年3月期第2四半期 555百万円 (186.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	0.86	0.85
26年3月期第2四半期	23.07	—

平成26年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。「1株当たり四半期純利益」は、前期第2四半期、当期第2四半期共に前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
27年3月期第2四半期	9,254		6,966		75.2	294.55		
26年3月期	8,843		6,941		78.4	293.79		

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 6,961百万円 26年3月期 6,936百万円

平成26年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。「1株当たり純資産」は、前期第2四半期、当期第2四半期共に前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,000	△9.0	300	△78.5	330	△76.8	300	△76.3	12.72

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

「1株当たり当期純利益」は、平成26年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、当該株式併合を考慮し算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	23,639,409 株	26年3月期	23,617,709 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	6,162 株	26年3月期	6,155 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	23,623,157 株	26年3月期2Q	23,592,553 株

平成26年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
2. 業績予想における「1株当たり当期純利益」は、平成26年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、当該株式併合を考慮し算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年9月30日)におけるわが国の経済は、震災からの復興の加速化とデフレからの脱却を図るため、政府が経済対策や金融施策を取り込む中、企業収益や雇用情勢が回復基調をみせてきているものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動からの回復に足踏みがみられております。また、米国の金融緩和縮小やユーロ圏の政府債務問題による影響等に依然留意する必要があるものの、欧米の景気は緩やかに持ち直しの動きがみられております。

当社グループが属する自動車業界について、国内における新車の販売台数(軽自動車含む)は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動減が引き続き影響したことにより、前年同期を下回り、中古車市場においても、同様に前年同期を下回りました。

このような環境の中で、当社グループは、第2四半期連結会計期間において回復傾向をみせたものの、第1四半期連結会計期間における消費税増税の反動減の影響等を吸収するに至らず、売上高・売上総利益が減少し、営業損失を計上いたしました。

以上の結果、売上高は14,770百万円(前年同期比11.6%減)、売上総利益は2,857百万円(前年同期比17.9%減)、営業損失は19百万円(前年同期は営業利益648百万円)、経常損失は3百万円(前年同期は経常利益658百万円)、四半期純利益は20百万円(前年同期比96.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は9,254百万円となり、前連結会計年度末と比べ、410百万円増加いたしました。その主な要因は、現金及び預金の増加375百万円、投資有価証券の増加262百万円、受取手形及び売掛金の増加78百万円、商品の減少636百万円などによるものであります。

負債合計は2,288百万円となり、前連結会計年度末と比べ、386百万円増加いたしました。主な要因といたしましては、短期借入金の増加225百万円、預り金の増加204百万円、未払法人税等の減少102百万円などによるものであります。

純資産は、6,966百万円となり、前連結会計年度末と比べ、24百万円増加いたしました。主な要因といたしましては、四半期純利益を20百万円計上したことによるものであります。この結果、自己資本比率は75.2%(前連結会計年度末は78.4%)となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ375百万円増加し、残高は3,488百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益は55百万円であり、たな卸資産の減少637百万円、前受金の増加70百万円などのプラス要因と、法人税等の支払132百万円、売上債権の増加77百万円などのマイナス要因により、結果として495百万円のプラスとなりました(前年同期は887百万円のプラス)。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資有価証券の取得による支出270百万円、有形固定資産の取得による支出63百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出9百万円などのマイナス要因により、結果として352百万円のマイナスとなりました(前年同期は37百万円のマイナス)。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の借入による収入270百万円、新株予約権の行使による株式の発行による収入10百万円のプラス要因と、短期借入金の返済による支出45百万円、リース債務の返済による支出2百万円のマイナス要因により、結果として233百万円のプラスとなりました(前年同期は2百万円のプラス)。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減の影響が当初の想定を上回ったこと、また、当社は新規店舗出店並びにテレビCM等へのメディア戦略を積極的に展開しておりますが、当該施策による業績への寄与は段階的であることなどから、売上高および各利益において前回発表予想を下回る見通しとなり、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、平成26年10月31日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,118,252	4,493,852
受取手形及び売掛金	816,087	894,348
商品	2,399,474	1,763,358
貯蔵品	1,529	1,542
繰延税金資産	305,697	305,697
その他	128,349	370,271
貸倒引当金	△541	△541
流動資産合計	7,768,847	7,828,530
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	990,949	1,065,091
減価償却累計額	△658,359	△687,868
建物及び構築物 (純額)	332,589	377,223
その他	154,004	155,058
減価償却累計額	△102,600	△109,514
その他 (純額)	51,403	45,544
有形固定資産合計	383,993	422,767
無形固定資産		
その他	44,819	88,432
無形固定資産合計	44,819	88,432
投資その他の資産		
投資有価証券	81,928	344,394
破産更生債権等	7,837	8,193
差入敷金保証金	557,197	562,953
その他	6,840	6,850
貸倒引当金	△7,837	△7,837
投資その他の資産合計	645,966	914,554
固定資産合計	1,074,778	1,425,753
資産合計	8,843,626	9,254,283

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	586,492	530,198
短期借入金	—	225,000
未払金	322,875	381,738
未払法人税等	132,062	29,779
閉鎖店舗引当金	166,879	123,345
製品保証引当金	24,367	5,250
その他	445,899	732,258
流動負債合計	1,678,577	2,027,570
固定負債		
預り保証金	1,400	1,400
繰延税金負債	29,039	31,322
資産除去債務	178,810	188,063
その他	14,193	39,829
固定負債合計	223,444	260,615
負債合計	1,902,021	2,288,186
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,452,502	2,705,365
資本剰余金	7,560,400	735,967
利益剰余金	△15,085,361	3,517,314
自己株式	△3,753	△3,758
株主資本合計	6,923,788	6,954,888
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,946	6,375
その他の包括利益累計額合計	12,946	6,375
新株予約権	4,822	4,725
少数株主持分	47	108
純資産合計	6,941,604	6,966,097
負債純資産合計	8,843,626	9,254,283

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	16,703,954	14,770,938
売上原価	13,223,725	11,913,657
売上総利益	3,480,228	2,857,281
販売費及び一般管理費	2,831,586	2,876,885
営業利益又は営業損失(△)	648,642	△19,604
営業外収益		
受取利息	4,268	3,715
受取配当金	1,733	1,076
受取手数料	1,802	5,009
受取保証料	1,251	2,585
持分法による投資利益	—	3,504
雑収入	4,207	5,013
営業外収益合計	13,262	20,904
営業外費用		
支払利息	178	479
支払保証料	2,210	2,879
修理費	852	1,166
雑損失	469	460
営業外費用合計	3,710	4,985
経常利益又は経常損失(△)	658,194	△3,685
特別利益		
主要株主株式短期売買利益返還益	—	65,698
特別利益合計	—	65,698
特別損失		
固定資産除却損	—	98
投資有価証券評価損	444	—
減損損失	24,280	6,651
特別損失合計	24,724	6,749
税金等調整前四半期純利益	633,470	55,263
法人税、住民税及び事業税	89,854	28,906
法人税等調整額	△942	5,921
法人税等合計	88,911	34,828
少数株主損益調整前四半期純利益	544,558	20,435
少数株主利益	189	61
四半期純利益	544,368	20,373

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	544,558	20,435
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,462	△6,570
その他の包括利益合計	10,462	△6,570
四半期包括利益	555,020	13,864
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	554,830	13,803
少数株主に係る四半期包括利益	189	61

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	633,470	55,263
減価償却費	37,644	44,918
減損損失	24,280	6,651
のれん償却額	—	2,255
閉鎖店舗引当金の増減額(△は減少)	△83,013	△43,533
投資有価証券評価損益(△は益)	444	—
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△1,340	△19,117
持分法による投資損益(△は益)	—	△3,504
受取利息及び受取配当金	△6,001	△4,792
支払利息	178	479
有形固定資産除却損	—	98
売上債権の増減額(△は増加)	376,592	△77,753
たな卸資産の増減額(△は増加)	84,714	637,818
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,834	△56,267
未払金の増減額(△は減少)	△45,722	30,262
未払費用の増減額(△は減少)	△97,786	△22,774
前受金の増減額(△は減少)	5,795	70,919
未払消費税等の増減額(△は減少)	43,277	34,946
その他	△3,075	△28,720
小計	966,623	627,149
利息及び配当金の受取額	1,990	1,432
利息の支払額	△178	△479
法人税等の還付額	1,347	95
法人税等の支払額	△82,144	△132,717
営業活動によるキャッシュ・フロー	887,638	495,480
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△20,024	△63,621
無形固定資産の取得による支出	△10,500	△1,400
投資有価証券の取得による支出	—	△270,000
敷金及び保証金の差入による支出	△10,627	△8,557
敷金及び保証金の回収による収入	3,926	1,901
貸付けによる支出	—	△2,300
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△9,834
その他	—	830
投資活動によるキャッシュ・フロー	△37,225	△352,982
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	—	△2,525
短期借入れによる収入	—	270,000
短期借入金の返済による支出	—	△45,000
自己株式の取得による支出	—	△5
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	10,633
新株予約権の発行による収入	2,602	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,602	233,102
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	853,015	375,600
現金及び現金同等物の期首残高	1,910,165	3,113,248
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,763,180	3,488,849

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

当社グループは、自動車関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

1. 株式併合

平成26年6月27日開催の定時株主総会決議により、平成26年10月1日付で10株を1株にする株式併合を実施しております。

(1) 併合により減少した株式数

普通株式 212,754,682株

(2) 併合方法

平成26年9月30日の最終の株主名簿に記載された株主の所有株式数を基準に、普通株式10株を1株の割合で併合を実施しております。